



# ガハテホ通信

篠山ナマステ会 事務局 〒669-2221 篠山市西古佐921 振替口座 00930-6-29629



現在、セティディビ小学校では、男子36、女子49計85名（2014. 6現在）の児童が元気に学んでいます。

## 篠山ナマステ会設立十五周年を前に考える！ セティディビ小学校は、今！

平成二十七年に、篠山ナマステ会は設立十五周年を迎えます。今後の支援のあり方と、契約更新事務のため、三月にネパールで連絡会を持ちました。

セティディビ小学校の教育内容の更なる充実を願って、SSSのビスタ氏、ネパール氏やサプロタ校長と協議を重ねました。

その結果、今年も、元PHD 研修生のパッサンさんを補助教員として派遣しています。また、教育環境を改善するためにトイレ改修の支援もしました。奨学資金補助枠も拡大しました。

そこで、今回はセティディビ小学校関係者から意見をもらい、学校について考えることにしました。近年、学校を卒業後、村を離れる若者が増え、高齢者が村に残り農業を続けている様子は日本と変わらぬ状況です。



しかし、学校が出来たことにより村は確実に変わりつつあります。人づくりは村づくり、国づくりの根幹です。

篠山ナマステ会はSSSとの連携を更に強くして彼らの自立した村づくりに協力すると共に、共に学び合える豊かな交流活動を続けたいと思います。



ビシュヌ・マニさん

篠山ナマスステ会がセロ及びSSSの特集記事を組んでニュースレターを発行することを聞いて、私たちは大変嬉しく思っています。すばらしい企画に大いに感謝し、その計画がうまくいくことを祈っております。

学校は積極的に運営されています。児童、保護者、教員は学校の状況が改善されていくことを嬉しく感じていますが、私も彼らの積極的な仕事に参加をしております。

一 SSSの活動紹介

サマ・セワ・サムハ (SSS) は二〇四八 (西暦一九八二) 年に創立された非営利、非政府の社会組織です。この組織は「団体登録法二〇三四 (A D一九六七)」に基づき、カブレパランチョク郡第六区にある地方行政事務所において、二〇四八年に合法的に登録されました。同年にネパール社会福祉協議会 (Social Welfare Council, SWC) に加入しています。

組織の主たる目的は、社会の底辺にいて疎外され支援もない人々に対し、教育、健康サービス、社会的扶助、その他の持続可能な開発計画を通して、彼ら自身のコミュニケーションにおいて彼ら自身が参加し、彼らを組織し、協力し、手助けすることによって、支援していくことでした。

当初、私たちの組織は十一人のボランティアによる活動



委員会を立ち上げることによって活動を始めました。現在、私たちは六九名の幹事があり、十四名の職員を直接雇用しています。

設立当初から現在に至るまで、私たちは様々な社会開発事業を多くの諸団体の支援を受けて成功裏に進めてきました。その諸団体とは以下の通りです。

世界の隣人、世界教育、貧困削減基金、篠山ナマスステ会、PHD協会、地方給水及び衛生、BPPパリアル、シエアー記念病院、バネパ地区健康事務所、カブレ開発事務所、関係するVDC等です。

二 セティディビ小学校、ガハテ村及び篠山ナマスステ会の関係

十四ヶ月前、ガハテ村では教育及びそれへの認識不足と経済的貧困のため、ほとんどの学齢期の子供たちは学校へ行っていないませんでした。全ての人たちが教育の価値や公衆衛生、人間としての基本的諸情報について何も知りませんでした。そのような中で、SSSは篠山ナマスステ会とガハテ村を結びました。

篠山ナマスステ会とSSSの両方の支援によって、村は学校校舎、教員、学校用給水システム、生活組合等を持つことができています。村人たちは生きることの価値やそういったことについて認識をしています。

三 村の変容

篠山ナマスステ会の支援によって、村は以下の点で変わってきました。

- (1) 全ての学齢期の子供たちが学校へ行っています。
- (2) 八〇%以上の家がトイレを持っています。
- (3) 二〇%以上の生徒が+二レベルの教育 (十一〜十二学年。日本の高校卒業レベル) を受けています。
- (4) 全ての保護者が教育、公衆衛生、そして増収

四 残された課題

入・協力・情報交換等の意識的諸活動の価値を認識しています。

(5) 七人の若者が、PHD協会の支援によって、日本で十一〜十二ヶ月間様々な分野で研修を受ける機会を手にしました

十分な政治的、社会的認識の欠如、資金不足、また村のリーダーたる人たちの関心が十分でなかったために・・・。

- (1) 村人は学校のグレードアップ (五学年を持つ小学校から八学年を持つ小中学校にすること) をしていません。
- (2) 学校はカブレ郡内でのよりよい学校にまだ育っていません。

五 SSSの将来計画

- (1) SSSは話し合いを通して篠山ナマスステ会、学校、ガハテ村のカウンターパートの役割を果たしていく準備ができています。
- (2) SSSはいつでも篠山ナマスステ会とPHD協会の必要に応じてネパール訪問プログラムをサポートします。
- (3) SSSは、学校の将来計画及び改善のために、その必要に応じて関係する政府機関や非政府組織とともに、セティディビ小学校とガハテ村との連絡調整をしていきます。以上です。

署名

SSS代表 バラト・ビスタ  
 プログラムコーディネーター  
 ビシュヌ・マニ・ネパール

■セティデイビ小学校長

ナワラジ・サブコタ

ナマステ。最初に、篠山ナマステ会が今後も益々発展されますことを祈念申し上げます。

ネパールの辺鄙で遅れた地域の子どもたちの教育水準を向上させるために、教育の領域における計画的な日本の支援に対し、セティデイビ小学校は心からの感謝を申し上げます。加えて、貴会のこれからの計画やプロジェクトがうまく進みますよう、祈念申し上げます。



私たちの学校はナマステ会の様々な支援を決して忘れません。校舎建設、教員給与支給、飲用水、公衆衛生、スポーツ（子どもたちの遊び）等の分野での支援は、この地域での全体的な開発において多くの貢献をしました。

私たちはモデルとなる学校建設のために、我が校の学力の向上を計画しております。この地域の全ての子どもたちが学校へ行くようモチベーションを高めたいと考えているのです。彼らの全体的な開発、即ち学力、スポーツ、E C A (Educational Credential Assessment) 教育評価、が私たちの最も関心とするところです。価値ある提言を得るために、私たちは定期的に保護者との懇談会をもっております。

最後に、篠山ナマステ会、SSS、セティデイビ小学校の関係と連携が今後とも続いていくことを願っております。

■セティデイビ小学校教員

ラムサラン・バンドリ

ナマステ。はじめに、2071年(AD2014)のダサイン祭及びディパワリ祭のお祝いを篠山ナマステ会及び全ての皆様に申し上げます。

私たちのガハテ村に対する様々な領域における計画的且つ継続的な支援と助力、即ち教育、健康、飲み水、清潔な環境等に対し、貴会の全ての人々にお礼と感謝を申し上げます。私たちは、保護者、児童生徒、社会福祉関係者、地域の有識者や開発関係者を含めて、貴会により我が地域に提供された経済的、教育的エンパワメントを旨とした様々な種類の研修や援助、提言に対し、感謝を申し上げます。



私は、貴会により提供された支援つまり我が地域への愛情、関心と援助が将来においても熱意にあふれ、継続的なものとなるよう、願っております。

■セティデイビ小学校教員

ミツ・クマリ・ラマ

私たちは、貴会がはるばる日本からSSSバラスト・ビスタ氏を通じてなされた全てのご支援に心からの感謝を申し上げます。私たちの村は暗闇の中にいました。そしてこの学校は明るい灯を点したので。以前は、私たちの子どもは近くに学校がなかったために、家の仕事をさせられていました。今、状況は違っています。全ての小さな子どもたちはこの学校



に入学します。私たちのガハテ村を暗闇の中から教育の明るい灯の点るところへ導いて頂いたこと、たいへん有難うございます。貴会から提供

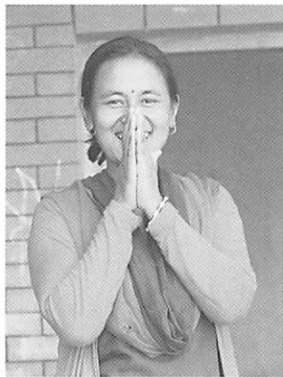
された教育用具及び遊具は大変役に立ちました。皆さんの度々の訪問、定期的な監督、改修とメンテナンスの補助は等しく支えとなるものです。私はお礼と感謝を申し上げます。もう一度篠山ナマステ会とSSSにお礼を言います。私たちは、私たちの遅れた地域のために価値あるご支援を頂いたことを決して忘れません。

■セティデイビ小学校教員

ビシュニユ・マヤ・タマン

尊敬する紳士、淑女の皆様、そして日本・篠山ナマステ会の皆さんに心からのご挨拶を申し上げます。

私たち、ガハテ村の住人は、皆様と共にいることを大変嬉しく思っています。この村を「モデル村」にしようとする皆さんのミッションは私たちがさえも幸せにしました。皆さんのこの村の開発にかかる良き意思に基づく姿勢と意図はきわめて立派なものです。以前は私たちの村は貧しく、開発も進まず、教育も奪われていました。皆さんの教育分野における支援は私たちを開発の道



へ導きました。私は、この地域の人々を向上させるために皆さんが注いでくれた困難な仕事に対し、心底からの感謝を申し上げます。私は将来にわたってこの助力と支援の絆がさらに強くなることを願っています。

私たちの教職員チームは改善されつつあります。私は、教育の質と学習環境が近い将来セティディビ小学校で改善していくことを、願っております。

### ■セティディビ小学校教員

パッサン・ラマ

(日本語で書かれた手紙です。一部、平仮名を漢字に直して読み易くしました。)

ナマステ会のみなさま、こんにちは。

日本のみなさまのおかげで、こんなネパールのたいへんな村ガハテで小学校をつくってくれて、ほんとうにありがとうございます。この村のこどもは、まな学校に行くことができなかったから、なにもしませんでした。今、その学校でべんきょうして、できた学生たちはいろいろなところでしごとをしています。まえ、字もよめなかつたけど、今、字をよんだり、お母さんたちにも教えることを子どもができるから、それはナマステ会のみなさんのおかげです。

今、学校をよくするために私たちみんながんばっています。子どもがもっと学校にくるためにスポーツや絵をかいたりしています。ほんとうにどうもありがとうございます。

### ■セティディビ小学校 校務員

ヒラ・ラル・タマン

私はセティディビ小学校校務員のヒラ・ラル・タマンです。皆さんが私に自分の意見を書く機会を下

さったことを嬉しく思います。

セティディビ小学校ができる前、ガハテ村ではほとんどの学齢児童が学校へ行っていないせいで、多くの村人は重い水かめを運んでいました。その当時は教育もなく、何も気づいていなくて、多くの人々はいないが生活に奮闘していました。



皆さんの支援の後、ガハテ村では教育の価値と生活への目覚めが生まれました。現在、全ての学齢児童は学校へ行っています。保護者の考え方も日に日に変わっていききました。そして、教育を受けた人々の数が我が村では増えつつあります。

例えば、私の娘はANM(助産師養成)コースを卒業し、BBPパビリール(SSSのパートナー)で仕事に就いています。

私は、我が村への大いなるご支援に心からの感謝を申し上げます。皆さんのご支援のお陰で、私たちの日々の生活は変わりつつあります。

私は、皆さんのご支援とご協力がこれからも決して終わることのないよう、願っております。

### ■セティディビ小学校運営委員会委員長

ジット・バハドゥール・タマン

尊敬する日本・篠山ナマステ会の全ての皆さんへ心からのご挨拶を申し上げます。

篠山ナマステ会が、近いうちに発行されるニューズレターに、学校運営委員会、保護者、教員、児童、その他の関係者の意見を載せられることを知って、非常に嬉しく思っています。

貧しく、教育もなく、疎外された地域の開発に皆

様が貢献されたことに対し、深甚の敬意を表したいと存じます。私及び私のコミュニティメンバーから心からのお礼を言います。皆さんの心からの、そして利己的でないご支援が、学ぶ機会を手にした子どもたちに笑顔をもたらしました。学校校舎を建設するだけでなく、教員支援をも巻き込んだことと清潔な飲み水の提供は、高く評価されるでしょう。私は、これらのご貢献がこれからも継続されることを願っております。



有難うございました。

### ■セティディビ小学校児童保護者

ビシュニユ・バハドゥール・タマン

篠山ナマステ会の皆様そして日本の人々へ心からのご挨拶を申し上げます。

私は農家です。そして保護者でもあります。私の三人の子どもはセティディビ小学校で勉強しております。一番上の子は三年生、真ん中は二年生、一番小さいのは一年生です。私は中等教育(SLC一〇年生)を修了して、現在は農業を頑張っております。私は自分の学校へ行くのに一時間を歩かなければなりませんでした。それは厳しく、疲れるものでした。現在、私の子どもは学校へ行き易くなりました。皆様のご援助に感謝します。皆様がなされた学校建設は全ての子どもたちに教育を届けました。私たちは皆様のご努力に手を携えてこの学校を支え、よりよいものに創り上げていきたいと考えております。

私は、皆様のご支援とセティディビ小学校、SSS、ガハテ村との友好関係が、決して終わることのないよう望んでおります。大変有難うございました。

■セティデイビ小学校児童保護者

シタ・ラムテル

篠山ナマステ会の皆様そして日本の人々に心からのご挨拶を申し上げます。

私はシタ・ラムテルです。カブレ郡マハデブスタン地区三に住んでいます。私は農家です。四人の子どもがおり、二人は息子、二人は娘です。家計の収入が少なく、年上の娘は学校へ行かずに結婚しました。年上の息子も六年生まで進んで学校をやめました。今、小さかった二人の息子と娘は四年生と七年生で学んでいます。

今は、私の子どもは学校へ行き易くなりました。皆様が学校を作って頂いたこと、そして中等教育学校(六〜一〇学年)に学ぶ生徒へSSSを通して奨学金を提供頂いたこと(七年生の私の娘もそうです)等のご支援に感謝申し上げます。

私は大変幸せであり、皆様にお礼を申し上げます。私は決して皆様のご支援を忘れません。皆様の学校建設、奨学金、そのほかのご支援がなかったならば、私たちの子どもは学校へ行く機会がありませんでした。私は、自分の子どもに中等教育(六〜一〇)さらに高等教育(十二年生以上)を受けさせるために、頑張っていきたいと思っています。

私は、皆様のご支援とセティデイビ小学校、SSS、ガハテ村との友好関係が、決して終わることのないよう願っております。有難うございました。



■セティデイビ小学校児童五年生

プラカシユ・タマン君

こんにちは、皆さんナマステ。

僕はガハテ村セティデイビ小学校のプラカシユ・タ

マンです。僕は一〇歳です。僕たちは五年生で勉強しています。これはこの学校の最終学年です。五年生の後はこの学校では勉強できません、僕たちは村から遠く離れた別の学校へ行かなくてはなりません。

僕たちは、皆さんが僕たちのために学校をつくってくれて、大変幸せです。遊具も贈ってくれてありがとう。僕たちはけんかをしないで、気持ちよく本を読み、勉強します。そして皆さんが頑張ってくれたことを無駄にはしません。

僕たちはいつも日本の人たちと、五年生で勉強している日本の友だちのことを忘れません。有難うございました。

■セティデイビ小学校児童五年生

シルジャナ・タマンさん

こんにちは、ナマステ。

私はガハテ村のシルジャナ・タマンです。私はセティデイビ小学校で学んでいます。私は大きくなってからは人を助けたいと思っています。私は自分の弟たち、妹たち、そして両親も手助けしたいと思っています。私は私の隣人たちを決して差別しません。私たちはみんな、遊具を下さったり、学校を建ててください。私たちはみなで一緒に勉強し、遊びます。有難うございました。

〜奨学資金支援の情報〜

SSS年次総会は予定通り終了しました。

総会は、現在の活動を継続すること、新たな組織からの増資(提案を準備することによって)でもって活動を拡大していくことなどを決定しました。篠山ナマステ会及びその他の支援団体に対し、心から

の感謝が表明されました。

この年次総会で、SSSは十六人の生徒たち(十四名は六〜十学年のLower Secondary、二名は十一〜十二年のUpper Secondary)に奨学金を提供しました。



6〜10学年の奨学生徒たち



+2の女子学生2人(左からネパール氏、パッサン先生、右端ビスタ氏)

篠山ナマステ会奨学生一覧

	生徒名	性別	学年	学校名	備考
1	Aanita Purkoti	女子	10	Dedi Thumka HSS	継続
2	Samjhana Tamang	女子	10	Dedi Thumka HSS	継続
3	Bimala Tamang	女子	10	Dedi Thumka HSS	継続
4	Sirjana Ramtel	女子	10	Dedi Thumka HSS	継続
5	Sunita Ramtel	女子	9	Dedi Thumka HSS	継続
6	Sarita Tamang	女子	9	Dedi Thumka HSS	継続
7	Susila Ramtel	女子	8	Radha Krishna LSS	継続
8	Ram Maya Ramtel	女子	7	Radha Krishna LSS	継続
9	Gita Ramtel	女子	7	Radha Krishna LSS	継続
10	Aasmita Tamang	女子	7	Radha Krishna LSS	継続
11	Birkam Tamang	男子	7	Dedi Thumka HSS	継続
12	Radhika Ramtel	女子	7	Radha Krishna LSS	継続
13	Ursingh Tamang	男子	6	Dedi Thumka HSS	新
14	Junu Tamang	女子	6	Dedi Thumka HSS	新
15	Manju Charmaker	女子	11	Dedi Thumka HSS	継続
16	Maya Tamang	女子	11	Dedi Thumka HSS	新

SSSによるPHD研修生の情報



左からパッサン、アチャンマ、ミン・クマリ、ラムマヤ、ウルミラ、小嶋代表

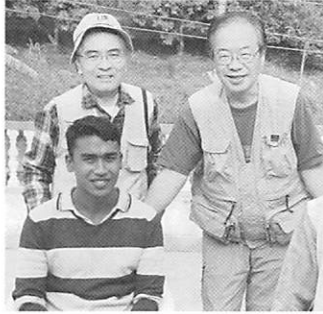
○ミン・クマリさんが先週カトウマンドゥ・パタンの病院で男の子を出産しました。母子ともに元気です。今はカトウマンドゥのご主人の所で休暇を取っています。

○パッサンさんは学校で仕事をしています。家族の農作業も手伝い、勉強もしています。彼女も我々（SSS）と連絡を取り合っています。

○ウルミラさんはSSS事務所でのパーシングセンターとしての仕事をきちんとしております。

○ラム・マヤさんはバネパでANM（助産師コース）の勉強をしています。

○アチャンマさんはカトマンドウにいます。



前列ラメッシュ、後列左から山本、松本幹事

ナマステ会のみなさま、こんにちは

みなさん、お元気ですか。私は元気です。ナマステ会のみなさんのおかげで、セティディビ小学校で先生の仕事をしています。本当にありがとうございます。

私は、今、学校で子どもに絵のことや菌みがきのこと、つめのきり方も教えています。それからMath（算数）、English（英語）、Social（社会）のことも教えています。今、子どもたちも前より分かってくれます。

みんな学校にきます。金曜日に学校で小学四、五年の子どもに「にほんご」も教えています。そのことをやると、子どもたちもよろこびました。そのあと、ときどきスポーツ（遊具を使った遊び）もやっています。

学校の先生のしごとはとても楽しいです。ほかの先生たちもみんなやさしいです。今、学校のトイレもきれいにしました。水もでています。まえよりすこしきれいです。「子どものべんきょうよくなりました」と、むらの人たちは言います。そして、子どもは今、おおいです。

私は、すこしだけ農業をしています。今はたけに、しよが、にんにく、まめ、ひえ、だいこんを植えています。ほんとうに、日本にいるとき、たいへんお世話になりました。

ありがとうございます。山岸お母さんとお父さんもお元気と聞いています。ナマステ会のみなさんとお父さんとお母さん、ずっとおほえています。ようさいの先生（酒造先生）のこともわすれませんが、どうもありがとうございます。

パッサンより  
ガハテ村ネパール



セティディビ小学校で授業をするパッサン

セティディビ小学校の充実には、SSSの支援が極めて重要です。SSSとの契約更新に際して、小嶋代表、松本・山本両幹事の三名がネパールで話し合いを持ちました。初めてネパールを訪問した山本幹事が報告します。

初めてのネパール！

山本 孝昭

四つの課題 私は昨年四月に篠山ナマステ会に入会し、毎月の定例幹事会に出席してきましたが、皆さんの会話が、特にネパールの人の名前、地名や学校名など固有名詞が頭の上を通過して覚えられませんでした。

今年三月の定例会で、小嶋代表から「平成二六年度活動方針案を作成するに当たり、四つの課題①SSSとの契約更改・カトマンドウ共同事務所の存否。②セティディビ小学校支援・補助教員増員と水道施設。③奨学金増額。④オレンジ農園の現況と見直し」を現地へ行ってよく状況を把握し、SSSと協議する必要がある」との発言があり、急遽、三月二二日から三月三一日までの日程で訪問することになり、小嶋代表、松本幹事と一緒に同行することになりました。

「百聞は一見に如かず」ネパールへ行きSSS代表のビスタ氏、通信員のビシユニユマニ氏、通訳のギリ氏やPHD研修生六名、三泊したクンタ事務所、ガハテ村の風景、セティディビ小学校、ラダクリシユナ小中学校などがしっかりとインプット出来たし、知人から聞いていた通りネパールの子供達の純粋で

人懐っこい目を見て感動しました。また、棚田で水牛二頭が田を鋤き、人が腰を屈めて田植えをしている光景は私の小学校の頃を思い出して非常に懐かし



が出来ていない現状を目の当たりにして、電気や水道がなくては工業立地としては難しく、やはり農業立国しかないのかなと思いました。

**農業支援** しかし、その農業もPHD研修生が言っていました。有機農業と言っても高くは売れないし、村の人達にはなかなか理解して貰えないので生活のためにはカトマンドウなどの都市へ行かざるを得ないと。また、山の中腹にあるテクさん宅を訪問しナマステ会が支援したオレンジの木を見学しましたが芳しいものではありません



く思えました。唯、ホテルやクンタ事務所に泊まっていて毎日ある停電、共同水道場で女性が手で洗濯したり、水瓶に水を汲んで何回も家まで往復している様子や土埃のする道、橋

がなく手こきのゴムボートでの人や物資の輸送など、この国の社会インフラ整備

した。彼は農地を拡大し意欲的に農業に取り組んでいます。後継者問題もあるようです。私は農業支援といつてもそう簡単なことではないと思いました。

**教育支援** 我々の活動はやはり教育支援を主とし、人材を育て村の人達の意識を徐々に高めて、医療、衛生や農業改革に取り組む人を増やしていくことが大事だと思います。

今回のネパール訪問で四つの学校を見学しましたが、セ小はゴミが散らかり、窓ガラスは割れたまま、水道管の水漏れは放置してあり、昨年夏のスタ

ディツアーで持って行った絵も貼られていなく、ラダ小中学校など他の学校は綺麗に清掃され、学校運営も上手くいつている様子と比べて寂しく感じました。今回訪問の課題の一つであったセ小の補助教員はPHD研修生の

のパスサンさんが採用されたし、SSSのビシユニユマニさんもカトマンドウ事務所



の閉鎖(契約書更改)で不便となったが、彼女との連携を強め、セ小が良くなるように奮闘してくれるものと期待します。生徒達が不便な思いをしているトイレもユニセフの支援で作られたものではあるがナマステ会が援助して修理することになった。奨学金も増額が決まり、我々の今回の訪問課題は一応解決出来た。来年は篠山ナマステ会一五周年記念の年であり、今後、どのような支援、交流を図っていくかが喫緊の課題です。

**ネパールの自然と文化** 帰りの飛行機の都合で一日余裕が出来、ラマ教の寺院を見物し、また、カトマンドウ宿泊先の支配人ウダブさんの案内でゴムボートを使って川を渡り凸凹の山道を車で登り、彼の関係する学校を訪問した。額に「ティカ」、首に幾つもの「レイ」を掛けられ、在校生、先生方の大歓迎を受けました。

最後の日にはマウンテンフライトでヒマラヤ山系のエベレストを遠望でき、且つ、パスサンさんの案内でカトマンドウ市内の古い寺院や王宮の遺品を見物出来た。

そして、何ヶ月経った今でも時々ネパール滞在8日間が鮮明に蘇り、特に満天の星の下、クンタ事務所屋上でロウソクを立て、テクさんから戴いたネパールの酒「ロキシ」を飲みながら、ビスタ代表、ビシユニユマニさん、サブコタ校長とギリさんの通訳を交え、夜遅くまで語り合ったことが懐かしく思い出されます。私



## 私たちの支援・交流活動と

### ガハテ村の現況に思う

篠山ナマステ会 代表 小嶋 英毅

篠山ナマステ会は、会員及び本会に賛同いただいている多くの方々と共に、ネパール・ガハテ村の支援・交流活動に取り組んできました。

来年には十五周年を迎えます。今号の「ガハテ村通信」には、この間のガハテ村の変容を伝える現地の声が満載されています。

ガハテ村はこれまで小さな学校がつくられても継続できず、教育からは遠ざけられた地域でした。セティディビ小学校の建設とその後の学校運営の支援活動は、ガハテ村やその周辺の村々の子どもたちに教育への希望の灯を点し、彼らが学ぶことの楽しさと自らの人生を切り開く喜びを手にすることに、寄与してきました。

セティディビ小学校が本会の直接支援を離れた後、多くの課題を抱えながらもコミュニティによって今日まで運営されてきていることは村人や同校教職員、SSSの努力の賜物であり、継続した学校運営が少しずつ村人の生活意識に変容をもたらし、教育への理解も大きく進みつつあることが分かります。

また、ネパール政府は女子教育、ドリットの教育に大きな力を注いでいますが、これを受けてSSSの奨学金制度はその機会に恵まれなかったネパールの女子教育の充実を目指したものです。本会はSSSの奨学金制度を資金面で支えることによって、セティディビ小学校卒業生に中等教育の機会を提供し、多くの女子生徒がこの奨学金を受けて中等教育学校で学べるようになっていきます。

このようなガハテ村の変容は本会の支援・交流活動の意義を改めて再確認できるものであり、その変容は私たちの大きな喜びです。

現在、ガハテ村にはセティディビ小学校の運営を中心にまだまだ多くの課題が残されています。

例えば、コミュニティスクールとしての学校づくりについて言えば、その教育目標や教育活動について学校教職員と児童保護者の意思疎通をより深めること、学校を地域住民をつなぐ中心として位置づけ、名実ともにコミュニティスクールに育てていくこと、などが挙げられます。

そしてこれらの課題解決に向けては学校教職員が村人との対話を深めることや、SSSがより積極的にこれらに関わって行くことが求められます。

私たちは学校の先生方やSSSとガハテ村の諸課題について意見を交換し、共に歩んでいきたいと考えています。

## ネパール支援の黒枝豆販売



本会は、会員の皆様の会費で運営しています。しかし、事業を展開しようとすると資金が足りません。そこで、今年も本会の活動PRとセティディビ小学校支援のため、篠山味まつりの期間に黒枝豆を販売しました。台風が接近しており心配しましたが、無事完売し、収益金は五万九千六百四十二円となりました。ご協力ありがとうございました。

## ■十五周年記念事業について

平成二十七年度に篠山ナマステ会設立十五周年記念事業を計画しています。

一 ネパールから教員等の招聴事業  
期間

平成二十七年五月十一日(月)～  
五月十八日(月)

内容

○篠山市内小学校での研修

○篠山市内小中学校視察・交流

○記念総会を開催

平成二十七年五月十六日(土)

十三時三十分

丹南健康福祉センター大会議室

二 ガハテ村通信に十五周年の歩みの特集

三 篠山市内小中特別支援学校に

ネパール理解の本を寄贈